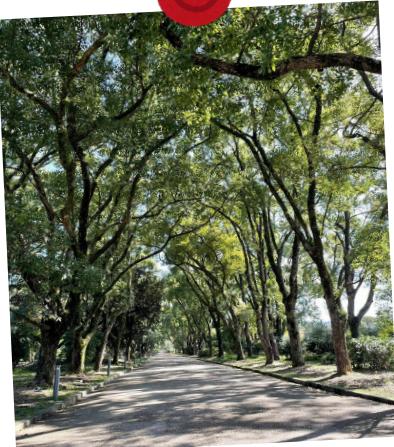


京都府立植物園

大正13年(1924年)に開園した日本最古の公立総合植物園。約240,000m²(甲子園球場約6個分)の広大な敷地に約12,000種類の植物が展示されており、一年を通して四季折々の植物を観賞することができる。

JR「京都駅」、近鉄「京都駅」、阪急「烏丸駅」から
京都市営地下鉄「北山駅」下車3番出口すぐ
又は「北大路駅」下車3番出口を東へ徒歩約10分
京阪「出町柳駅」から
市バス1系統又は京都バス「静原」「市原」行き。
バス停「植物園前」下車徒歩約5分
(京都府ホームページより)



くすのき並木 *Cinnamomum camphora*

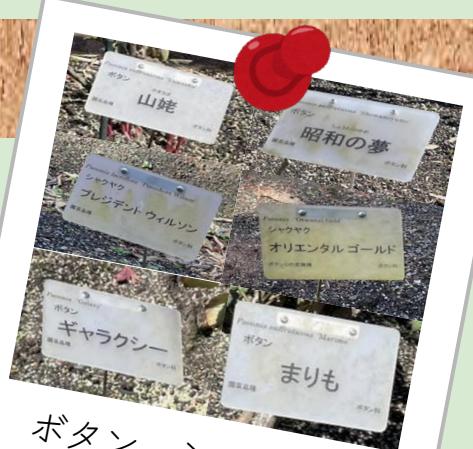
東に位置するぼたん・しゃくやく園には様々な品種が植えられている。注目すべきはその名前。洋風、和風、ときには中華風まで個性豊かだ。お気に入りの名前を見つけてみては？

開花時期 ボタン 4月中旬～5月上旬
シャクヤク 5月中旬～下旬



ホソイザクラ
Cerasus x hosooi M.Hiroe

長年にわたり来園者を迎えてきたシンボルロード。開園当初に植えられたクスノキは東西方向200メートルにわたっており、樹齢100年を超える。川端康成の小説「古都」にも登場する歴史ある並木。



ボタン シャクヤク
Paeonia suffruticosa
Paeonia lactiflora

京都府立植物園で一度は見てほしい植物がサクラだ。サクラなんて珍しくない、どこでも見れると思うかもしれないが、京都府立植物園では180品種500本のサクラが毎年花を咲かせる。なかには名前のない個体も植栽されており、一本ずつ花の様子が大きく異なる。その見事な光景から、春の植物園を代表する景色の一つとなっているほどだ。

ホソイザクラ 桜 シロバナカラミザクラとソメイヨシノを交配して作られたサクラ。樹形は小ぶりで、非常にたくさんの花が着いている。